

平成20年度第2次新まちづくり計画施策進行調書

政策目標	5	文化の薫る、都市の魅力が輝き、にぎわう街					
重点課題	4	新たな集客交流資源の創出と魅力の発信					
達成目標の状況							
施策番号	項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (予定)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)
1	〔さっぽろ雪まつり魅力アップ〕参加団体数	9団体	10団体	12団体	12団体	12団体	15団体
1	雪まつりの満足度	57.7%	-	63.9%	67.0%	70.0%	70.0%
1	〔ライラックまつり魅力アップ〕観客数	346,700人	363,500人	373,250人	450,000人	500,000人	500,000人
1	〔「ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo」〕来場者数	44.6万人	45.1万人	46万人	47万人	48万人	50万人
1	藻岩山の再整備	-	-	基本計画 策定	実施設計	工事中	整備
1	定山溪の来客数	2,435千人	-	-	-	-	2,584千人
1	定山溪の来客の満足度	82.6%	-	-	-	-	85%
1	〔代替目標〕定山溪の宿泊者数	1,813千人	1,408千人	1,456千人	1,504千人	1,552千人	1,600千人
1	〔新たな秋のイベント〕観客数	-	-	60万人	70万人	80万人	80万人
1	〔大通公園スケーティング・スクエア〕利用者数	-	5,083人	7,000人	9,000人	1万人	1万人
1	〔平岡公園・梅林〕梅開花時期の夜間入園者数	-	14,300人	22,370人	16,600人	17,600人	17,600人
1	コミュニティガーデン設置数(累計)	-	1カ所	11カ所	21カ所	31カ所	30カ所
1	花を活用した管理を行う道路残地箇所数(累計)	-	-	-	5カ所	10カ所	10カ所
2	外国人観光客のリピーター率	25.4%	28.9%	27.7%	28.85%	30%	30%
2	札幌観光の満足度(おもてなし)	69.5%	78%	72.3%	73.6%	75%	75%
2	コンベンションの開催件数	911件	952件	981件	1,015件	1,050件	1,050件
2	観光集客イベントの集客人数	7.1万人	7.0万人	7.3万人	7.4万人	7.5万人	7.5万人
2	コンベンション開催団体への訪問回数	501件	547件	620件	620件	620件	620件
2	道外観光客の来客数	6,398千人	6,104千人	未定	未定	6,791千人	6,791千人
2	スイーツを楽しみにした観光客の増加	24.2%	20.6%	未定	未定	35%	35%
2	外国人延べ宿泊者数	559,272人	752,081人	未定	未定	未定	70万人
2	〔アジア学生交流〕市民交流事業等参加者数	-	-	500人	500人	500人	500人
2	サミットの支援	-	-	推進			推進 (20年度)
2	〔国際園芸博覧会構想の検討〕開催誘致の是非決定	-	-	決定			決定 (20年度)
3	〔都心部における北海道の魅力発信〕来場者数	-	-	3万人	8万人	10万人	10万人
3	〔都心部における北海道の魅力発信〕道内各地域からの出展者数	-	-	20件	40件	50件	50件
3	〔(仮称)札幌広域ドライブルートマップ作成〕参画施設の入場者数の伸び率	-	-	-	0.75%アップ	1.5%アップ	1.5%アップ
	(以下余白)						

〔代替目標〕定山溪の宿泊者数は、定山溪の来客数及び定山溪の来客の満足度について、19年度以降公表を取りやめたことにより、代替の達成目標として設定したものである。

平成20年度第2次新まちづくり計画施策進行調書

政策目標	5	文化の薫る、都市の魅力が輝き、にぎわう街
重点課題	4	新たな集客交流資源の創出と魅力の発信
評価(成果)		課題
施策1 観光魅力づくりの推進		
<p>雪まつり第2会場での市民参加、来場者へのおもてなし向上により、集客交流の促進に寄与。 ライラックまつりが市内中心部の活性化につながった。大連市との交流による海外観光客誘致。 藻岩山の事業が市民に定着。藻岩山再整備による、ソフト事業や自然環境の資源活用。 定山溪温泉地域の魅力づくりと賑わいの創出に貢献。 秋のイベントでの関連業界や市民などとの意見交換の機会。それに基づいた企画案。 まつり等のイベントについて多くのお客様に関心をもていただいたことにより、集客交流資源としての成長が期待された。 梅林のライトアップにより、市民と観光客に新たな魅力を提供し、集客交流に貢献した。</p>	<p>雪まつり第2会場の魅力アップ、参加団体の募集手法や会場構成の検討。 ライラックまつりの悪天候時の対応、平日の集客についての検討。 藻岩山の環境配慮ガイドラインの継続管理、札幌振興公社をはじめとする関係者との調整による円滑な事業運営、リニューアル後のソフト面における人材育成、体制整備など。 定山溪のまちづくり計画に関係した機関との連携。 まつり等のイベントの知名度アップのための広告費用。道外観光客の入り込み、出展者・スポンサー、事業費の確保などが課題。 雪まつり1丁目会場のスケートリンクの待ち時間対策、協賛金等の事業費確保。 梅林ライトアップを観光資源として定着させるための関係部局との協議、旅行業者等へのアピールなど。</p>	
施策2 観光客及びコンベンションの受入強化と誘致促進		
<p>個人客対応充実、来客受入強化、魅力づくり発信、コンベンションの各プロジェクトにおいて、それぞれ実績をあげた。 旅行会社等との人的ネットワーク、相互協力体制の構築と維持に力を入れ、効果的なプロモーションが実施できた。 札幌市の旅行先としての認知度を向上させ、旅行商品造成のための事業を行ったことが、着実な入り込み増につながった。</p>	<p>観光都市さっぽろ推進にあたっては、旅行代理店、航空会社、ホテル、タクシー業界などとの連携を一層進める必要がある。 札幌観光に訪れた人の満足度を上げるために、観光関連業者による相互の連携を強化していかなければならない。 外国人観光客を多く誘致するため、誘致宣伝活動に加えて、受入環境整備、規制緩和、出入国手続き体制整備など、新たな魅力づくりに取り組む必要がある。</p>	
施策3 道内各市町村と連携した魅力の発信		
<p>リンケージアップフェスティバルに参加していた市町村に対して、オータムフェスト2008の趣旨を説明し、理解を得た。</p>	<p>関係市町村との連携を推し進めていくための、オータムフェストに係る事業費予算の確保が急務である。</p>	
今後の重点取組		
<p>「さっぽろオータムフェスト2008」をはじめとする新たなイベントによる集客、既存のまつり等のイベントの魅力アップ、観光プロモーション、受入環境整備などにさらに力を入れて、集客交流都市さっぽろの実現に向けた取組を継続的に強化していく。</p>		

平成20年度第2次新まちづくり計画施策進行調書

政策目標	5	文化の薫る、都市の魅力が輝き、にぎわう街
重点課題	4	新たな集客交流資源の創出と魅力の発信

成果指標等の動向

<p>項目1 観光地としての総合満足度(単位:%)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>満足度 (%)</th></tr> <tr><td>H18 (現状値)</td><td>84.7</td></tr> <tr><td>H19 (実績)</td><td>86.4</td></tr> <tr><td>H22 (目標値)</td><td>90</td></tr> </table>	年度	満足度 (%)	H18 (現状値)	84.7	H19 (実績)	86.4	H22 (目標値)	90	<p>項目2 年間来客数(単位:万人)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>来客数 (万人)</th></tr> <tr><td>H18 (現状値)</td><td>1,410</td></tr> <tr><td>H19 (実績)</td><td>1,378</td></tr> <tr><td>H22 (目標値)</td><td>1,500</td></tr> </table>	年度	来客数 (万人)	H18 (現状値)	1,410	H19 (実績)	1,378	H22 (目標値)	1,500
年度	満足度 (%)																
H18 (現状値)	84.7																
H19 (実績)	86.4																
H22 (目標値)	90																
年度	来客数 (万人)																
H18 (現状値)	1,410																
H19 (実績)	1,378																
H22 (目標値)	1,500																
<p>項目3 外国人延べ宿泊者数(単位:人)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>宿泊者数 (人)</th></tr> <tr><td>H18 (現状値)</td><td>559,272</td></tr> <tr><td>H19 (実績)</td><td>752,081</td></tr> <tr><td>H22 (目標値)</td><td>700,000</td></tr> </table>	年度	宿泊者数 (人)	H18 (現状値)	559,272	H19 (実績)	752,081	H22 (目標値)	700,000	<p>項目4 札幌市内での総観光消費額(単位:億円)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>消費額 (億円)</th></tr> <tr><td>H18 (現状値)</td><td>4,770</td></tr> <tr><td>H22 (目標値)</td><td>5,500</td></tr> </table>	年度	消費額 (億円)	H18 (現状値)	4,770	H22 (目標値)	5,500		
年度	宿泊者数 (人)																
H18 (現状値)	559,272																
H19 (実績)	752,081																
H22 (目標値)	700,000																
年度	消費額 (億円)																
H18 (現状値)	4,770																
H22 (目標値)	5,500																
<p>項目5</p>	<p>項目6</p>																

成果指標等から見た重点課題の評価

「観光地としての総合満足度」については、目標達成に向けて順調に推移しているものと考えられるので、引き続き満足度アップを図る。「外国人延べ宿泊者数」については、既に目標を達成しているが、更なる向上に努めていく。「年間来客数」については、平成18年度に比べて減少に転じているが、平成19年度についても、過去2番目の来客数となっており、引き続き、目標達成に向けた取り組みを続けていく。